

草の根レベルの日韓協調

大学生 坂田 光一郎

皆さんは日韓関係と聞くと何を想像しますか？多くの人達は竹島問題、植民地問題などの歴史認識問題、もしくは韓流ドラマの流入に契機を持つ韓流ブームに関することを思い浮かべると思います。しかしそれだけが日韓関係を規定するものではありません。私が日韓アジア基金の活動に始めて参加させて頂いたのは1ヶ月前のビビンの会が開催された日でした。正直想像していたのは韓流ブームに沸く方々が集まるような雰囲気を感じていたのですが、それは完全に私の間違いだとすぐに気付かされました。若者から社会人、主婦や既に退職された方、老若男女がお互いの文化や政治の事を語り合ったり、時にはたわいもない話をしたりとそこには国やバックグラウンドを越えて笑顔で同じ時間を共有する空間が広がっていました。この日の体験がその後私が日韓アジア基金での活動に積極的に参加させて頂くきっかけになったことは言うまでもありません。

去る10月2日と3日に日韓アジア基金では日比谷公園で開催されるグローバルフェス2010に参加し募金活動と弊団体の広報活動を行いました。日韓アジア基金では2001年の設立以来、MDGs（ミレニアム開発目標）における達成目標の一つである普遍的初等教育の普及を目指しカンボジアでの教育支援を行ってきました。現在に至るまでに、子ども向け識字学校の開設と運営、幼稚園開設、二つの小学校へ



高校1年生3人組です。初めてのボランティア参加とは思えない大活躍で、皆を引っ張りました。

の不足教科書支援などを行ってきました。フェス当日はこうした背景を来場者の方々に伝え募金のお願いをしました。その結果これまでの集金金額を大きく越える額を来場者の方々に寄附をして頂き多くの方に弊団体のことを知ってもらうことが出来ました。2010年の今年、日韓は併合100年を迎えます。これまで多くの軋轢により何度も築き上げてきた協調関係に溝を作ってしまう出来事を度々両国は経験してきました。しかしグローバル化が広がる現在、私達をとりまく生活がより豊かになると同時に初等教育すら満足に受けられない人々はまだまだ存在しています。そうした 이슈に対して私達のように草の根レ

ヴェルで日韓が協調していく事は今後両国の強固な協調関係を築く一助になるだけでなく、そうした活動を通してより深い相互理解を可能にすると思います。日韓アジア基金ではこれからもこうした活動を通して日韓相互の理解を深め合い、共に問題に取り組んでいきます。私達の活動に賛同してくれる方はもちろんのこと、純粋に韓国という国に興味がありもっと知ってみたいと思う方、そんな方々と今後共に活動していけることを楽しみにしています。これからも日韓アジア基金を宜しくお願い致します。